

外部評価有識者の皆様

日本学術会議外部評価において重点的に評価いただきたい事項について

この度は日本学術会議外部評価有識者をお引き受けいただき、御礼申し上げます。今般お願いさせていただきます日本学術会議第25期1年目（令和2年10月～令和3年9月）の活動に関する外部評価につきましては、下記の事項について特に重点的に評価いただきますようお願いいたします。

なお、当然のことながら、これら以外の項目について、外部評価有識者の皆様の御判断により、評価事項を追加いただくことを妨げるものではございません。

<重点的に評価いただきたい事項>

○「日本学術会議のより良い役割発揮に向けて」（令和3年4月22日）に記載した取組の進捗状況の確認・評価と、今後取り組むべき事項

（1）国際活動の強化

- ・ 中長期的に取り組むべき事項
- ・ 国際的なネットワーク機能の強化

（2）科学的助言機能の強化

- ・ 科学的助言等対応委員会を中心とした新たな実施体制の運営に当たっての留意事項
- ・ 審議している課題
- ・ 審議体制（委員会や分科会の設置状況、構成員、審議スケジュール等）
- ・ 学協会との役割分担（（3）と共通）
- ・ 実施後のフォローアップと改善（（3）と共通）

（3）対話を通じた情報発信力の強化

- ・ 様々なステークホルダーとの連携
- ・ 学術フォーラムやシンポジウムの実施状況（テーマ、内容、登壇者、対象、時期、情報発信など）
- ・ 国民への情報発信（学術会議ホームページ、SNSの活用）

（4）会員選考プロセスの透明性の向上

（5）事務局機能の強化

○「日本学術会議のより良い役割発揮に向けて」に記載した取組以外に、学術会議が取り組むべき事項

- ・ Gサイエンス学術会議（2023年開催予定）に向けた対応

以上